

<b>授業科目名 (英語表記)</b>	地域づくりの理論と実践 D (Strategic regional/community management D)		
<b>単位数</b>	2(学部生のみ)【通年】	<b>授業形態</b>	講義・演習
<b>担当教員</b>	大浦 由美、岸上 光克、阪井加寿子		
<b>開講</b>	秋津野ガルテン (田辺市上秋津)	<b>区 分</b>	学部開放科目
<b>実施日・時間</b>	下記「授業計画」のとおり		
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b>          少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では“限界集落”が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。そして、農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。</p>			
<p><b>【授業計画(通年)】《前期期間：視座①②、後期期間：視座③④⑤》(土曜2講義+日曜1講義)</b>  <b>＜視座1：地域づくりの理論＞ 5/20-21</b>          【01】地域づくりとコミュニティビジネス(仮)(細野賢治：広島大学大学院統合生命科学研究科教授) 13:00～14:30          【02】地域づくりと合意形成～「秋津野塾」の経験から学ぶ(仮)(木村則夫：㈱秋津野社長) 15:00～16:30          【03】地域づくりの経済学～地域内再投資力論～(岡田知弘：京都橘大学現代ビジネス学部教授) ※オンライン 9:00～10:30  <b>＜視座2：地域づくりとマネジメント＞ 7/22-23</b>          【04】地域経営の考え方(八島雄士：和歌山大学観光学部教授) 13:00～14:30          【05】地域運営組織の実態と課題(有田昭一郎：島根県中山間地域研究センター主任研究員) 15:00～16:30          【06】地域経営と6次産業化(仮)(秋竹俊伸：㈱早和果樹園社長) 9:00～10:30  <b>＜視座3：地域づくりと行政・農協の役割＞ 10/7-8</b>          【07】総合農協の現状と課題(小林元：日本協同組合連携機構基礎研究部長) 13:00～14:30          【08】農協青年部活動が目指すもの(中早大輔：和歌山県農協青年部協議会会長) 15:00～16:30          【09】協同組合の現代的価値(岸上光克：和歌山大学経済学部教授) 9:00～10:30  <b>＜視座4：地域づくりと交流・連携＞ 11/11-12</b>          【10】都市農村交流と関係人口(藤田武弘：追手門学院大学地域創造学部教授・主任講師サポート) 13:00～14:30          【11】新たな田園回帰と農村移住(阪井加寿子：和歌山大学農食総合研究教育センター特任助教) 15:00～16:30          【12】移住者からみた地域づくり(仮)(佐々木彰生：アンフィ合同会社代表) 9:00～10:30  <b>＜視座5：地域づくりと担い手育成＞ 1/27-28</b>          【13】農業後継者の現状と課題(柳村俊介：摂南大学農学部教授) 13:00～14:30          【14】域学連携による人材育成と地域づくり(大浦由美：和歌山大学観光学部教授) 15:00～16:30          【15】地域サポート人材の役割と課題(岡司直也：法政大学現代福祉学部教授) 9:00～10:30</p>			
<p><b>【到達目標】</b>          本学では「域学連携」の観点に基づく地域での多様な実践型教育・研究が行われている。本講義の受講者が、それら地域での実践的な学びを自ら深めていくことを期待したい。なお、本講義は江頭ホスピタリティ事業振興財団の「寄付講義」として開講されることから、受講者における地域での学びの質的変化やキャリア形成に与える影響等の教育効果の検証を行う予定である。</p>			
<p><b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>          毎回の講義への参加状況(リアクションペーパーによる理解度の確認：50点)と講義期間中に実施する課題(50点)の合計で総合評価する。</p>			
<p><b>【教科書】</b>          特に定めない(各回に必要な資料を提供)。</p>			
<p><b>【参考書・参考文献】</b>          岡田知弘『地域づくりの経済学入門(増補改訂版)』自治体研究社、2020年。その他については授業中で紹介する。</p>			
<p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>          本講義は秋津野ガルテン(田辺市)で実施する(田辺市までの交通費、宿泊費等は自己負担)。          地域の再生は一朝一夕に叶うものではない。常に「現場(実社会)が先生」とであるという謙虚さと熱意をもって、社会人などの多世代の人々とともに地域の悩みを共有しながら根気強く問題解決に取り組もうとする受講生を歓迎する。          なお、週末の土日開催というスタイルの講義以外に、オプションでフィールドワーク(現地視察等)が提供される場合があるので、積極的に参加してほしい。          ※新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、遠隔講義(オンライン授業など)を導入する可能性、または授業を中止する可能性がある。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は各自で準備する必要がある。</p>			
<p><b>【履修する上で必要な事項】</b>          地域づくりに関わる新聞記事やニュース等について日常的に目を通す習慣をつけて欲しい。</p>			
<p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>          本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。</p>			
<p><b>【授業理解を深める方法】</b>          観光学・農学・経済学・教育学等に係る基礎知識が求められることから、参考書等を通じて事前・事後学習を深めて欲しい。また、今回の視座冒頭で前回のリアクションペーパーに対する各講師のリプライコメントを返却し、学生が自身の学修到達状況を相対的に理解する機会を提供している。</p>			